

第1学年 国語科学習指導案

児童 1年1組 男19名 女14名

指導者 小関 江利子

単元名

よみとったことをまとめて、「1年生 おきにいり のりものずかん」をつくろう。

学習材名「いろいろなふね」（東京書籍1年下）P37～P47

<主となる指導事項>

◎時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。(C読むこと(1)イ)

◎文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。(C読むこと(1)エ)

<付けたい力>

○書かれている内容を事柄ごとに正しく読み取り、大事な言葉や文を書き抜く力。

<単元の言語活動>

◎乗り物の本を読み、読み取る観点についてカードにまとめ、図鑑を作る。

1 単元について

(1) 子どもの実態

子どもたちはこれまで、教科書の挿絵と文を結びつけたり動作化をしたりしながら、事柄の順序に気を付けて内容の大体を読み取る学習をしてきた。1学期に学習した説明的文章「どうやってみをまもるのかな」（東京書籍1年上）の学習においては、観点に沿ってサイドラインを引き、大事な言葉や文をカードに書き抜く活動を行った。しかし、作業的にサイドラインを引く子どもが多く見られた。また、大事な言葉や文を書き抜くことは、自力での取り組みが難しく、全体で確認しながらの学習となった。

読書については、入学当初から読み聞かせを聞いたり、自分で本を選んで読書をしたりしている。短時間でも本に没頭し、1回の読みで大体の内容を把握する児童もいれば、文字数の多さに抵抗を示す子どももあり、自力で読むとなると個人差がかなり大きい状態である。さらに、男子を中心に似かよったジャンルや同じシリーズの本しか手に取らない場合もよくある。学習材に関連する本については、並行読書で読む経験はしている。しかし、自分で本を読み、その中から選んだ題材についてまとめるという学習は、今回が初めてになる。

ペアでの交流は、国語以外の時間にも取り入れてはいるが、話し合いの土俵に乗ることが難しい子どもが数名見られる。提示された話型に従って、一人学びで読み取ったことを伝えることはしているが、友達と自分の考えを比べることや根拠を話し合うことは、十分に身に付いていない。

(2) 学習材について

本学習材「いろいろなふね」は、「始め（話題提示）」「中（4つの例示）」「終わり（まとめ）」の3つのまとまりで構成されている。1年生にとって分かりやすい構成であると同時に、説明文の典型的な文章構成になっている。本文に取り上げられている4つの船はいずれも、役目を述べている段落、構造や装備などについて述べている段落、機能について述べている段落の3つの段落で構成されている。さらに、「～は、～するためのふねです。」（役目）、「～には、～があります。」「～は、～をつんでいます。」（構造・装備）という文型で説明されており、叙述に即して内容をとらえることに適した学習材

である。

乗り物という題材は、児童にとって身近なものであるから、1年生の児童が興味や関心をもって学習に取り組むことができる学習材と考える。また、「やく目」「つくり」「できること」の3つの観点についての読み取りを通して、大事な言葉や文に着目しながら文章を読む力を伸ばすことができるようになると思う。

(3) 言語活動の特徴と指導事項との関連

本単元では、「乗り物の本を読み、読み取る観点についてカードにまとめ、図鑑を作る。」を単元の言語活動として設定する。

カードにまとめる際は、学習材の4つの船について「やく目」「つくり」「できること」の3つの観点で読み取ることとする。カードに書くためには、学習材や乗り物の本で調べたことをそのまま書き写すのではなく、必要な言葉や文を見つけて短くまとめる力も必要になってくる。読み取ったことをカードに書く活動を設定することで、必要な情報を短く書き抜く力を育んでいく。

また、4つの船以外にも、学習材に近い文型にリライトした資料から、お気に入りの乗り物の「やくめ」「つくり」「できること」を読み取り、カードにまとめることで指導事項を確実に身に付けさせたい。

作ったカードは1つにまとめ、「1年生おきにいり のりものずかん」として学校の図書室に置く。調べたことをカードにまとめる目的意識と相手意識をもたせるため、他の学年の児童に乗り物図鑑を読んでもらうことにする。

(4) 指導に当たって

指導に当たっては、以下の点に留意する。

第一次では、「乗り物についての本を読み、調べたことをカードにまとめて、1年生お気に入り乗り物図鑑を作ろう」という計画を立て、学習の見通しをもたせる。完成した図鑑を、学校の図書室で他の学年の児童に読んでもらう場を設定することで、相手意識とカードにまとめる目的意識をもたせた。また、並行読書を進めるために学級に乗り物の本コーナーを設置し、児童が学習材に関連した本を常時手に取ることができるようにする。その際、おすすめ読書カードを用意したり、気に入った乗り物には本に付箋を貼らせたりするなど、様々な本や図鑑の中からお気に入りの乗り物を選ばせていきたい。

第二次では、学習材を読む際には、「やく目」「つくり」「できること」の3つの観点について読み取らせる。文章構成に気を付けて読んだり、文末表現や手がかりになる言葉を根拠に、サイドラインを引かせたりしながら読み取る。そして、カードにまとめる際には、学習材をそのまま書き写すのではなく、必要な情報のみ書き抜くようにさせたい。

一人学びでカードにまとめたことは、全体で確認していく。そして、主体的に読み、理解を深めていくために、「文章の中の言葉や文について、もっと知りたいこと」を出し合い、全体での交流を図る。出された疑問については、写真と対応させたり、生活経験や読書経験から子どもたちに説明をさせたりしながら、文中の言葉や書かれている叙述をもとに正しく読ませたい。子どもたちからの予想される疑問については、教師側もある程度の補助資料は用意しておくが、子どもたちの話し合いを中心に解決を図っていきたい。また、どうしても解決に至らない疑問については、並行読書への意欲付けと

していく。

第三次では、図鑑から自分で乗り物を選び、3つの観点についてカードにまとめていく。ただし、図鑑を読み、カードにまとめる活動は、1年生の子どもにとっては困難が予想される。そのため、事前に把握していたお気に入りの乗り物について、リライトした資料を数種類準備し、子どもたちが無理なく取り組めるようにしていきたい。また、違う乗り物を選んだ子どもでグループを作り、完成した図鑑を友達と読み合う。友達の選んだ乗り物について初めて知ったことや気に入った点など話し合い交流させる。最後に、単元の学習の振り返り、学習を通じて分かったことやできるようになったことなどを確認し、学習に満足感をもたせたい。

2 単元の指導目標と評価規準

○乗り物に興味をもって学習材を読んだり、好きな乗り物について調べたりしようとする。

【国語への関心・意欲・態度】

◎事柄の順序に気を付けながら、内容の大体を読み取ることができる。 【読むこと(1)イ】

◎乗り物についての3つの観点について、大事な言葉や文を書き抜くことができる。

【読むこと(1)エ】

○主語と述語の関係に気を付けながら文章を読むことができる。

【伝国(1)イ(カ)】

[評価規準]

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
○知りたいことに関する情報を得るために、乗り物に関する本や図鑑を選んで読もうとしている。	◎書かれている内容を事柄ごとに正しく読み取り、乗り物の「やく目」「つくり」「できること」を文章から見付けながら読んでいる。【読(1)イ】 ○乗り物について書かれた本を読んで、「やく目」「つくり」「できること」について書いてある文を書き抜いている。【読(1)エ】	○主語と述語の関係に注意して文章を読んでいる。【伝国(1)イ(カ)】

3 単元の指導計画(全12時間)

次	時	主な学習活動	指導の手立て	評価とその方法
一	1	○題名や教科書の写真から、船について知っていることを話し合う。 ○全文を通読し、お気に入りの乗り物図鑑を作るという見通しをもたせ、学習計画を立てる。	・扉の写真や文、題名から船についての興味や関心をもたせる。 ・乗り物カードのモデルを提示し、ゴールのイメージをもたせる。 ・乗り物図鑑を作るために、乗り物について書かれている本や図鑑を読み、カードを書くことを確かめる。	関学習のゴールのイメージをもち、乗り物について興味関心を高めている。 (発言・行動観察)

並
行
読
書

二	2	<p>○学習材の文章構成を知る。</p> <p>○新出漢字やカタカナの学習をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・挿絵や主語を手がかりに、4種類の船について書かれていることを確かめる。 ・「やく目」「つくり」「できること」について読んでいくことを知る。 ・新出漢字やカタカナの読み方や確かめる。 	<p>読事柄の順序に気を付けて、内容の大体を読み取っている。</p> <p>(発言)</p>	並 行 読 書
	3 4	<p>○読むときの3つの観点について、「きゃくせん」の文を読みながら確かめる。</p> <p>○「きゃくせん」の「やく目」「つくり」「できること」をカードに書く。</p> <p>○「きゃくせん」の文章の中から、知りたいと思うことを出し合い、話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「きゃくせん」の「やく目」「つくり」「できること」は何か、言葉や文末表現を手がかりにした読み取りの仕方を学ばせる。 ・読み取ったことを「きゃくせん」乗り物カードに整理して書かせる。 ・出された疑問について、写真や生活経験などをもとに話し合わせる。 	<p>読「きゃくせん」の「やく目」「つくり」「できること」を表す大事な言葉や文を見つけながら読み、カードにまとめている。</p> <p>(カード・発言)</p> <p>言主語と述語の関係に注意して文章を読んでいる。(カード)</p>	
	5	<p>○「フェリーボート」の「やく目」「つくり」「できること」を読み取り、カードに書く。</p> <p>○「フェリーボート」の文章の中から、知りたいと思うことを出し合い、話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「フェリーボート」の「やく目」「つくり」「できること」を言葉や文を手がかりに読み取らせる。 ・読み取ったことを「フェリーボート」乗り物カードに整理して書かせる。 ・「きゃくせん」と同じ文章構成、文型で書かれていることに気づかせる。 ・出された疑問について、写真や生活経験などをもとに話し合わせる。 	<p>読「フェリーボート」の「やく目」「つくり」「できること」を表す大事な言葉や文を見つけながら読み、カードにまとめている。</p> <p>(カード・発言)</p> <p>言主語と述語の関係に注意して文章を読んでいる。(カード)</p>	
	6	<p>○「ぎよせん」の「やく目」「つくり」「できること」を読み取り、カードに書く。</p> <p>○「ぎよせん」の文章の中から、知りたいと思うことを出し合い、話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ぎよせん」の「やく目」「つくり」「できること」を言葉や文を手がかりに読み取らせる。 ・読み取ったことを「ぎよせん」乗り物カードに整理して書かせる。 ・「きゃくせん」「フェリーボート」と同じ文章構成、文型で書かれていることに気付かせる。 	<p>読「ぎよせん」や他の乗り物の「やく目」「つくり」「できること」を表す大事な言葉や文を見つけながら読み、カードにまとめている。</p> <p>(カード・発言)</p>	

			<ul style="list-style-type: none"> 出された疑問について、写真や生活経験などをもとに話し合わせる。 	<p>言 主語と述語の関係に注意して文章を読んでいる。(カード)</p>	並 行 読 書
7 本 時	<p>○「しょうぼうてい」の「やく目」「つくり」「できること」を読み取り、カードに書く。</p> <p>○「しょうぼうてい」の文章の中から、知りたいと思うことを出し合い、話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「しょうぼうてい」の「やく目」「つくり」「できること」を言葉や文を手がかりに読み取らせる。 読み取ったことを「しょうぼうてい」乗り物カードに整理して書かせる。 前述までの船と同じ文章構成、文型で書かれていることに気づかせる。 出された疑問について、写真や生活経験をもとに話し合わせる。 	<p>読 「しょうぼうてい」や他の乗り物の「やく目」「つくり」「できること」を表す大事な言葉や文を見つけながら読み、カードにまとめている。(カード・発言)</p> <p>言 主語と述語の関係に注意して文章を読んでいる。(カード)</p>		
三 8 9 10	<p>○好きな乗り物についてシートを選び、読み取ったことをカードに書く。</p> <p>○図鑑としてまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> カードに書きたい乗り物をリライトした資料から選び、3つの観点について乗り物カードに書かせる。 	<p>読 選んだ乗り物について「やく目」「つくり」「できること」を表す大事な言葉や文を見つけながら読み、カードにまとめている。(カード)</p> <p>言 主語と述語の関係に注意して文章を読んでいる。(カード)</p>		
11	<p>○図鑑を友だちと読み合い、交流する。</p> <p>○学習の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 友だちが調べた乗り物について、初めて知ったことや気に入ったことなど発表させる。 単元を通じて、分かったことや出来るようになったことなどを確認し、学習へ満足感を持たせる。 	<p>関 友だちのまとめたカードに興味をもち、楽しんで交流している。(ノート・発言)</p> <p>言 主語と述語の関係に注意して文章を読んでいる。(発言・行動観察)</p>		

4 本時の指導 (7 / 11)

(1) ねらい

「しょうぼうてい」について、「やく目」「つくり」「できること」を表す大事な言葉や文を見つけながら読み、カードにまとめることができる。

(2) 展開

	学習活動・学習内容	指導の手立てと評価
導入 3分	<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">しょうぼうていは、どんなふねなのだろう。</div> <p>2 課題解決の見通しをもつ。</p>	<p>○乗り物について書いたカードを図鑑にすることを確認する。</p> <p>○消防艇の「やく目」「つくり」「できること」について読み取り、カードにまとめることを確かめる。</p> <p>○学習の手順を確かめる。</p>
展開 35分	<p>3 学習課題を解決する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習場면을音読する。 ・消防艇の「やく目」「つくり」「できること」を見つけ、サイドラインをひき、カードにまとめる。 ・消防艇の3つの観点について、全体で確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><消防艇></p> <p>「やくめ」は、船の火事を消す。</p> <p>「つくり」は、ポンプやホースを積んでいる。</p> <p>「できること」は、水や薬をかけて、火を消すこと。</p> </div> <p>・読み取ったことをもとに、消防艇について疑問に思うことや文について出し合い、話し合う。</p>	<p>○カードにまとめる際のポイント（見つけた文章をそのまま書き写すのではなく、短くまとめる）を確認する。</p> <p>○3つの観点と、その根拠を確かめる。</p> <p>○消防艇も前述までの船と同じ順序で書かれていることを確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><評価規準></p> <p>A根拠をもちながら、3つの観点についてサイドラインを引き、カードに書いている。</p> <p>B 3つの観点についてサイドラインを引き、カードに書いている。</p> <p>Bに到達させるための手立て</p> <p>既習の船と同じ文型であることに気付かせ、サイドラインを引くようにさせる。</p> </div> <p>○疑問として予想されることについては、補助資料を用意しておく。 (ポンプ、ホース、くすり等)</p> <p>○疑問に思うことについて、写真と対応させたり、生活経験や読書経験などをもとにしたりしながら、話し合う。</p> <p>○疑問の解決に至らない時には、並行読書の意欲付けを図る。</p>

<p>ま と め</p> <p>7 分</p>	<p>4 学習をふり返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習について、振り返りをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><ふり返りの観点></p> <ul style="list-style-type: none"> ◎「やくめ」「つくり」「できること」を見つけることができたか。 ◎カードにまとめることができたか。 ◎書かれている順序がわかったか。 </div> <p>5 次時の学習内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きな乗り物を選んで、カードにまとめていくことを確かめる。 	<p>○学習計画表に記号で振り返りを書かせるようにする。</p> <p>○カードに書きためていくことを確認する。</p>
-------------------------------------	---	--

5 板書計画

本
文

しょうぼうてい

しょうぼうてい

- ①やく目
ふねのかじをけす。
- ②つくり
ポンプやホースをつんで
いる。
- ③できること
水やくすりをかけて、火
をけすこと。

しょうぼうてい
写真

やく目

つくり

できること

④いろいろなふね
しょうぼうていは、どんなふねなのだろう。